

年末年始のご挨拶

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本年も取引先の皆様、従業員の皆様、ご家族、地域の皆様に多大なるご支援を賜りましたこと感謝申し上げます。

さて、2021年も前年から引き続き新型コロナウイルスが長期に影響する事となり、弊社も減産の影響を受けましたが、休業期間をチャンスととらえ教育訓練などを行いました。厳しい状況ではありますが、会社として将来必要とされる社会に適應する為に、弛みない努力が一層必要と感じた年でした。

その中でもいくつか明るいニュースもありました。一つ目は、OPEN INABU に代表される弊社の多様な働き方や活躍を通じたやりがい創出が評価され、「豊田市はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰」にて最高位の大賞を応募初年度から受賞した事です。表彰式では豊田市長から直接事業の紹介していただき、地元地方自治体から評価いただいたことは大変嬉しい事でした。二つ目は、国の経済産業省が地域の雇用経済を支える中小企業のチャレンジを顕彰する制度「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に人材育成・ものづくり分野で選出されたことです。地域の様々な属性の方の雇用を工夫していることがダイバーシティネイティブと認められ、従業員の定着、スキルアップへの施策が評価されたものです。国と地方自治体から同時期に弊社の取組が評価されたことを励みに、会社の取組を全員で一層進め、あるべき姿に向かっていきたいと思えます。

(受賞の詳細は弊社ホームページからご覧ください。 <http://www.toyotake-kogyo.co.jp>)

弊社が本社を構える豊田市稲武地区は人口の減少率、少子高齢化率から50年後の日本の縮図と言われています。会社や地域の資源に目を向け、この自然豊かな課題先進地でチャレンジし生き残ることが、2030年に必要とされる会社、SDGsにかなった取り組みになるとして、各事業を磨いて参ります。2021年の多くのサポートをいただきました感謝を重ねて申し上げるとともに、2022年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。年末年始のご挨拶とさせていただきます。

令和3年12月28日

トヨタケ工業株式会社

代表取締役社長 横田 幸史朗